

小学生以下の被扶養者 7,000円

(4) 保養所等利用助成 (19年目)

組合員が旅行のため当支部指定の共済組合宿泊施設を利用した場合、利用者の福祉増進を図るため利用券を発行して助成した。

なお「あづま荘」「郡山会館」については、組合員の外、組合員の被扶養者及び被扶養者でない配偶者・子供・父母も助成の対象とした。

また、「あづま荘」「郡山会館」については、県教育委員会主催等の会議室利用助成と結婚式を行う組合員及びその子に対し結婚式利用助成を行った。

- ア 助成額 宿泊利用 1泊につき1,300円  
会議室 5割  
結婚式 1組につき3,000円
- イ 助成件数 宿泊利用助成 16,956件  
内訳 県内利用助成 14,402件  
県外利用助成 2,554件

(5) 生涯学習講座 (1年目)

高齢化社会の時代背景を踏まえて組合員の退職後の人生設計に資するため下記のとおり講座を実施した。

講演内容及び講師

- ① 「人生のいきがい」  
人 江 徳 郎 (東京放送解説委員)
- ② 「健康と生活」  
緑 川 正 (県会津若松保健所長)
- ③ 「公的年金改革と共済年金」  
柚 原 達 男 (日本退職公務員連盟理事)

(6) 弔慰供花 (12年目)

現職中に死亡した組合員の霊前に花輪を供えて、追悼の意を表した。

供花件数 21件

## 4 互助会単独事業

(1) 公益事業

① 互助会文庫 (13年目)

広く県民の教育文化の向上と、振興発展に寄与するために、県立図書館に対し、図書を寄付し、移動巡回車「あづま号」に互助会文庫を設け、広く県民の利用に寄与した。

期 日 昭和59年9月4日

寄付物件 一般図書 706冊

② へき地教育事業助成 (13年目)

へき地の特殊性を考慮し、県人事委員会指定特地以上の学校に在学する児童、生徒を対象に健康増進と健全な育成を図ることの一助として運動用具 (ボール類) を配付した。

対象学校 220校

③ 教育塔合祀遺族助成 (11年目)

本県関係の教育塔合祀者の遺族で、大阪市で実施された教育祭に出席した遺族に対し、旅費を助成した。

④ 文化講演会助成

公立学校共済組合福島支部主催の「生涯学習講座」における講演会に対し一部助成した。

(2) 厚生給付

次のとおり給付を行った。

区 分	給付人数	給付総額
医薬品補給給付金	5,689人	56,456,800円
結婚祝金	684	20,520,000
入学祝金	2,981	38,025,000
計	9,354	115,001,800

(3) 厚生事業

① 芸術鑑賞助成 (10年目)

会員が、すぐれた舞台芸術を鑑賞することにより、芸術に対する理解を深め教育の向上を図ることを目的に入場料の一部助成を行った。

ア 移動芸術祭等 (県内各地)

助成額 (1人1回1,500円) 助成人数 1,766人

イ 日展福島展 助成人数 1,000人

② 指定旅館利用助成

県内、県外に指定旅館を設け、会員の旅行の際の便宜と健康増進を図るため、利用券を発行して助成した。

助成額 (宿泊利用1泊につき)

あづま荘、郡山会館、せあぶり荘、新舞子ハイツ、  
サンルートいわき 1,500円

その他の施設 1,300円

また、会議指定施設で会議を開催した場合は使用料の5割の助成を行った。

区 分	施設数	助成件数	助成額
県 内	42	35,846件	49,808,800円
県 外	9	1,164	1,513,200
会議室利用助成	4	10	150,350
計	55	37,020	51,472,350

③ 海、山の家及びスキーの家開設助成

夏季期間中に会員及び被扶養者の健康増進を図るため、海、山の家を開設、また、冬季にはスキーの家を開設し利用助成を行った。

区 分	利用者数	開設期間
海の家(7ヵ所)	1,254人	7月1日～8月31日
山の家(5ヵ所)	524	
スキーの家(3ヵ所)	387	12月15日～3月31日

④ 人間ドック

任意継続会員を対象に短期人間ドックを実施した。

委託病院	当初予定 人	実施人員	金 額
東北中央病院	300人	330人	14,372,900円